

2024 年・2025 年 3 月卒業生アンケートについて（報告）

2026 年 1 月 30 日

1. 調査対象

2024 年 3 月～2025 年 3 月に本学を卒業した学生 532 名。

※ただし保健医療学部 臨床工学科、総合福祉学部 介護福祉マネジメント学科・ソーシャルワーク学科は、調査時点で 1 期生が卒業前のため調査対象外。

2. 調査実施期間

2025 年 8 月 29 日（金） ～ 2025 年 9 月 12 日（金）

3. 調査方法・回答方式

- ・調査協力依頼：回答用 QR コード・URL を添付したメールを対象者へ一斉送信。
- ・回答方式：Google Forms を用いた電子回答。
- ・調査項目：基礎情報＋選択式項目（4 段階・一部複数回答）＋自由記述欄。

4. 調査票回収状況・卒業生基礎情報

- ・有効回答数：74 件（回収率：13.9%）。

2023 年度卒業生 23 名、2024 年度卒業生 51 名。

- ・男女比：男性 35.1%、女性 58.1%、無回答 6.8%。

- ・各学科卒業生の割合：以下表 1. のとおり。

【表 1. 有効回答全数に占める各学科卒業生の割合】

卒業学科	割合（%）
看護学科	32.4
リハビリテーション学科 理学療法学専攻	20.3
リハビリテーション学科 作業療法学専攻	18.9
診療放射線学科	13.5
臨床検査学科	14.9

5. 調査結果について

(1) 基本情報（上記 4. 記載のため省略）

(2) 本学の教育内容・環境について

①教育内容の満足度（「満足」＋「やや満足」の合計：89.2%）

[ポジティブな意見（自由記述欄の要約・以下同様）]

- ・国家試験合格へ向けた教員の熱意ある指導、教職員の親身な相談対応、質問しやすい環境などが高く評価されました。

- ・座学だけでなく実技を取り入れた授業や、実務に直結する知識・技術を習得できた点に満足している声が多くありました。

[ネガティブな意見（自由記述欄の要約・以下同様）]

- ・4年時のカリキュラムの過密さと、時期による多忙さの極端な差が負担となっていたことが指摘されました。
- ・一部に「レジュメを読み上げるだけ」の講義や、威圧的な実技演習があったことに不満が示されました。

②教育環境（施設・設備など）の満足度（「満足」＋「やや満足」の合計：59.4%）

[ポジティブな意見]

- ・校舎の清潔さ、女性向けメイクルーム、自習スペースの充実などが評価されています。
- ・現場を想定したベッド数や最新機器、図書室などが学びを支えたとの意見があります。

[ネガティブな意見]

- ・Wi-Fi環境の脆弱さにより、課題提出等に支障をきたしたことが指摘されました。
- ・空調（冷暖房の効きにくさ）、学食（座席数・価格）、駐輪場（駐輪スタンドの整備）などに対して、改善を求める意見が挙げられました。

(3) 本学保健医療学部ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針：DP）について 以下表2. のとおり（※「役に立っている」＋「おおむね役に立っている」の合計）。

【表2. 各ディプロマ・ポリシー（DP）への評価】

ディプロマ・ポリシー（DP）	割合（%）
① 人権や多様な個性を尊重し、倫理的態度を持って共生社会の実現に寄与する能力	85.1
② 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与する能力	90.5
③ 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働する能力	86.4
④ 科学的根拠に基づき、対象者に必要な保健医療技術を提供する能力	83.8
⑤ 論理的思考をもって主体的に学修し、保健医療学を発展させる能力	86.5

【参考：大学概要】 <https://www.jhu.ac.jp/about/page.php?id=7>

(4) カリキュラムについて

① 在学中に学んだ科目で仕事上、役に立った科目

自由記述欄記載内容の一例。ただし科目名称について、略称名で入力されている場合や表記ゆれ等がある場合、適宜補足・修正・要約を行いました。

1. 解剖学系科目

【科目名称】解剖学、形態機能学、画像解剖学、臨床解剖学、解剖生理学など。

※「解剖を理解していないと病態も理解できず、看護ができなくなる」といった重要性を指摘する意見が見られました。

2. 生理学・生化学系科目

【科目名称】生理学、生化学など。

3. 看護技術・援助技術系科目

【科目名称】基礎看護技術論、生活援助技術、看護ヘルスアセスメント論、看護過程論など。

※看護・援助技術面に関する科目に対して、「入職してから非常に役に立った」との評価がありました。

4. 運動学

【科目名称】運動学など。

5. リハビリテーション評価・演習系科目

【科目名称】理学療法評価学、作業療法評価学など。

6. 撮影・画像技術系科目

【科目名称】X線CT検査学、医療画像工学、画像診断学など。

7. 臨床実習系科目

【科目名称】臨床実習など。

※「実習での経験が今の臨床でも生きている」との肯定的評価が述べられました。

8. 血液・化学・微生物学系科目

【科目名称】臨床微生物学、臨床化学、臨床血液学、輸血・移植検査学など。

※特に「感染症に関する知識は就職後に助かった」との意見が挙げられました。

9. 領域別看護・作業治療学

【科目名称】老年看護学（概論・実習）、成人看護学（概論・特論・実習）、小児看護学（概論・実習）、精神看護学（概論・実習）、高齢期障害（理学療法学・作業療法学）、精神障害作業治療学など。

10. 専門科目全般・その他実務系科目

【科目名称】運動療法学、義肢装具学、地域リハビリテーション学など。

11. 基礎教育科目・卒業研究

【科目名称】病理学、疾病論、倫理学、心理学、語学（英語、中国語）、医療安全管理学、医療情報管理学、卒業研究など。

② こんな科目があると就職してから役に立つと思われる科目（自由記述欄抜粋）

1. 臨床実技の強化（採血・注射・点滴など）

・採血、注射、点滴の技術練習や、採血に関する科目。

2. 救急・急変時の対応および関連知識

・心電図の見方・読み方、急変時の立ち回り、救急の現場。

3. 接遇・マナー・社会人としての作法

・患者への接遇、社会人としての正しい言葉遣い・作法、マナー講座、コミュニケーション論、対人支援に係る科目。

4. 電子カルテおよび PC 操作・医療機器の扱い
 - ・電子カルテの扱い方・入力方法（パソコンの基礎技術）、病院で使用されている具体的な機械の使い方。
5. 薬剤・薬学に関する知識
 - ・薬学、薬剤関係の科目。
6. 画像診断・画像アセスメントの深化
 - ・画像解剖、脳画像、マンモグラフィの詳説、正常画像と異常画像の違いの分析。
7. 多職種連携・チーム医療の実践的学習
 - ・他学科間でのコミュニティ形成を通じたチーム医療の経験、在宅医療を想定した多職種連携のあり方を学ぶ科目。
8. 最新技術・先端医療に関する講義
 - ・AI・ロボット技術の活用、最新のリハビリ機器（iVIS、振動刺激など）。
9. より臨床現場に近いシミュレーション・実習
 - ・臨床での 1 日の流れ、夜勤の実習、オペ室・ICU などの特殊部署を見学する機会。
10. リハビリテーションの特定技術・評価法
 - ・触診、動作分析、モビライゼーション系、がんリハビリ、エコー関連、浮腫の治療、統合と解釈、ニード・デマンドから治療目標の立て方。
11. その他（キャリア、制度、特定領域）
 - ・キャリアデザイン、各分野の研究法、脳神経外科の詳説、尿沈渣・穿刺液鏡検。

(5) 就職支援について（「満足」＋「やや満足」の合計：86.5%）

[ポジティブな意見]

- ・キャリアセンターやゼミ教員による、履歴書添削、面接練習、小論文対策などの手厚い個別指導に対し、肯定的な評価が述べられました。
- ・キャリアセンターに過去の受験報告書などの情報の蓄積があったことで、選考へ向けた対策が立てやすかった点も高く評価されています。

[ネガティブな意見]

- ・担任及びゼミ担当によって、サポートの熱量に差がある点が課題に挙げられました。
- ・求人サイトの更新の遅さや、道外求人情報の量に不足を感じた点が報告されています。

(6) 本学を卒業して良かったか（「良かった」＋「まあ良かった」の合計：93.2%）

[ポジティブな意見]

- ・専門職としての就業を実現できたことが最大の満足要因であり、そこで出会った教員や友人、仲間との絆に高い価値があったことが語られています。
- ・大学の理念に沿った教育や、手厚い国家試験対策が自身を成長させてくれたという感謝が多く寄せられました。

[ネガティブな意見]

- ・実習先が慢性期病院に偏っていたため、急性期現場とのギャップに苦労したという意見が挙げられています。

(7) 卒後教育について

①希望する内容

以下表 3. のとおり。

【表 3. 卒後教育実施にあたり、希望する教育内容（複数回答可）】

項目	回答数（件）
講演会	26
先輩の講演	13
症例検討会（全学科）	15
症例検討会（学科別）	44
技術講習会	40
特になし	4

②卒後教育を希望する時期・方法への要望

- ・仕事との両立のため「平日の 19 時以降」「土日」での開催を求める傾向にありました。
- ・実施方法について、「オンライン形式」での開催を求める意見が多く寄せられました。

以上の貴重なご意見については、今後の学内の教育活動の見直しに活用させていただきます。

以上